

百貨店・スーパー・ドラッグストアは好調を維持するも その他業態では弱含み

3月の鉱工業生産指数は前年同月比（原指数）で▲7.8%と2カ月連続のマイナスとなった。また、4月の住宅着工戸数は▲4.3%と2カ月連続のマイナス、5月の公共工事請負金額は同▲10.2%と2カ月連続のマイナスとなった。5月の企業倒産については、件数が8件（同±0%）、負債金額は12億58百万円（▲36.1%）となった。

個人消費については、5月の乗用車新車販売台数総計（軽乗用車販売台数含む）は同▲7.5%と5カ月連続のマイナスとなった。4月の大型小売店販売（百貨店・スーパー）は既存店（店舗調整後）ベースで同2.8%と25カ月連続のプラスとなった。業態別では、ドラッグストアが同+4.5%と23カ月連続のプラスとなった一方で、コンビニエンスストアが同▲1.0%と2カ月連続のマイナスとなった。

なお、4月の有効求人倍率（季節調整済）は前月比で変わらず1.25倍となっており、全国平均（1.26倍）を下回った。県内の有効求人倍率が全国平均を下回るのは3カ月連続となった。

各指数の矢印については
現状の景況感をあらわす。



上向き



横ばい



下向き

鉱工業生産指数

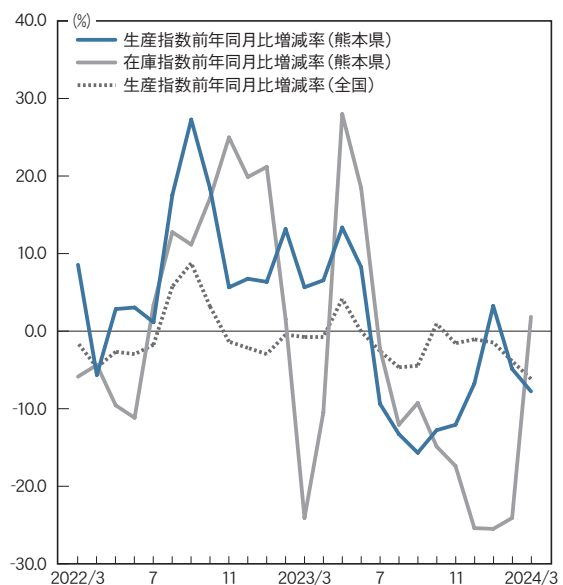


2カ月連続前年比マイナス（3月）

3月の鉱工業生産指数（原指数）は、前年同月比▲7.8%の131.0と2カ月連続でマイナスとなった。

生産指数（原指数）を業種別にみると、電子部品・デバイス工業（前年同月比+16.6%）や輸送機械工業（同+6.4%）などの業種で上昇したが、木材・木製品工業（同▲33.0%）や繊維工業（同▲23.1%）、汎用・生産用機械工業（同▲21.7%）などの11業種で低下した。なお、電子部品・デバイス工業の分類に含まれる集積回路は170.0（同+21.4%）と6カ月連続で上昇した。また、出荷指数（原指数）は130.9（同▲10.5%）と2カ月連続のマイナス、在庫指数（原指数）は68.6（同+1.8%）と9カ月ぶりのプラスとなった。

鉱工業生産・在庫指数前年同月比（2020年=100 原指数）



資料：熊本県統計調査課、経済産業省

住宅着工

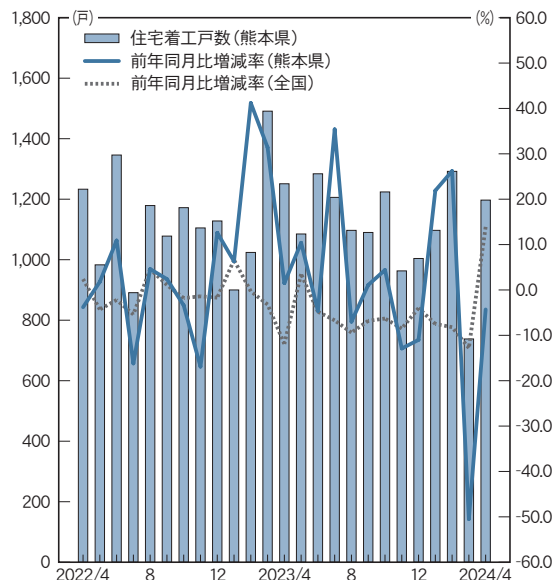


着工戸数は2カ月連続前年比マイナス(4月)

4月の新設住宅着工戸数は、前年同月比▲4.3%の1,197戸となり、2カ月連続のマイナスとなったが、マイナス幅は前月と比べて大幅に改善した。

利用関係別にみると、持家が259戸（前年同月比▲19.3%）、貸家は791戸（同+7.0%）、分譲は146戸（同▲21.1%）となっている。なお、全国の4月の新設住宅着工戸数は、76,583戸（同+13.9%）となっており、11カ月ぶりのプラスとなった。

新設住宅着工戸数前年同月比



資料：国土交通省

公共工事



請負金額は2カ月連続前年比マイナス(5月)

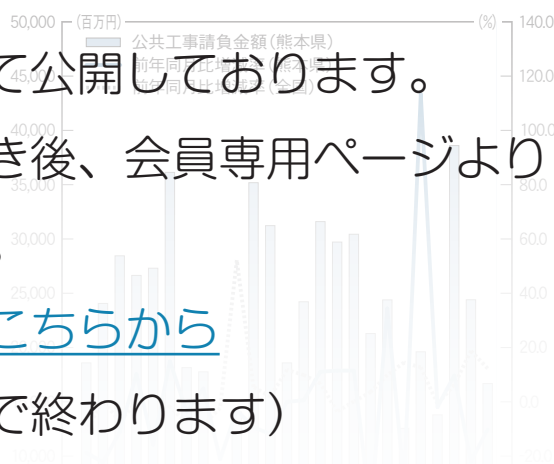
5月の公共工事件数は前年同月比+3.0%の344件となり、請負金額は同▲10.2%の167億円となった。

以降は会員専用ページにて公開しております。

請負金額を発注者別にみると、国が24億33百万円(同▲3.7%)、県が10億7,000百万円(同▲37.0%)、熊本市が35億69百万円(同+27.5%)となっている。

地区別では県内11地区のうち、菊池地区、芦北地区などの5地区がプラスとなり、玉名地区、宇城地区などの6地区がマイナスとなった。

公共工事請負金額前年同月比



ご覧頂くには、入会手続き後、会員専用ページよりアクセスをお願いします。

[ご入会はこちらから](#)

(入力は数分で終わります)

[会員の方ははこちらから](#)